



麺屋さん登場！～にじめん～

去年のにじ組さんがしていた“そうめん流し”をやってみたいと、この遊びが始まりました。流すことよりも、ごっこ遊びの方が楽しかったようで、いつの間にか『にじめん』というお店屋さんになっていました。この遊びを進めていく中で、子どもたちの「こんなのほしい！」という気付き発想には驚くものばかりで、この子たちらしいなとほほえましく思う毎日でした！



現在

うどんって書くよ

学び④

年長になって文字に興味をもっており、「メニュー書きたい！」と覚えた字を一生懸命思い出して看板作り。わからない文字があったら友達に聞き、協力しながら作っていました。看板やメニューがあると、よりお店屋さんらしくなりますね。

学び③

砂場の横にある“みんなのいえ”をカウンターに見立てて麺を食べている様子がありました。カウンターで並んで麺をためている姿がとてかわいいですね。「メニューや看板もあったら、うさぎ組さんもきてくれるんじゃない？」にじ組の麺屋だから、「にじめん」というお店にしよう」と、お店にするために必要なものを考えました。お店には流すコーナーもあるので、始めにしていた流しそうめんがここで生かされていますね！流したい人は店員さんというと流してくれるそうです^^

流しますよ～

麺つゆ濃いから
水で薄めるね

ネギっぽくするために
斜めに切ろう！

学び③

「ネギやトマトがあったらいいね」「つゆもいるやん」と、どんどん子どもたちからアイデアが出てきました。麺の種類も「そうめん・そば・うどん・ひやしちゅうか」の4種類もあります。つゆを絵の具で作りたいとのことだったので、焦げ茶色の絵の具を準備すると、「先生、ちょっとこれ濃くない？」と水の量を調節してより本物に近い麺つゆを自分で作っていました。1学期、色遊びをたくさんしていたので色を作るのは得意な子どもたちです。

学び②

麺を出してざるに入れると、本当のそうめんに見えてきました。「お母さんいつもそうめんざるに入れて、混ぜてるよ。水にもつけてる！」と普段家庭で見ていることを真似して遊んでいます。麺を水につけて混ぜていると「水がお湯になってきた。これじゃにゅうめんになるやん」とそうめんがにゅうめんになってしまいました。それはそれでおもしろいですよね^^しかし、そうめんにこだわる子どもたちは、「氷いれたらいいんちゃう？」と冷たくするには氷が必要だということを思いついたようで、氷を入れて冷たいそうめんが完成しました！流しそうめんが、いつの間にか麺屋ごっこに変わっていました。

流すよ～

おっけーい！

〈試したもの〉
○紙ひも
○ビニールの紐
○毛糸
○麻ひも

学び①

去年の年長さんが、流しそうめんごっこをして遊んでいたのを思い出し、「ぼくたちもやってみたい」とトイを使って水を流して遊んでいました。「先生、ロープちょうだい！」と言われたのでロープを渡すと、「あれ？全然流れへんやん」と流れないことに気付きました。そこで、麺に使える素材をいろいろ準備し、置いておくことにしました。すべて流して試した結果、毛糸が一番流れやすいことに気付くことができました！



7月1週目

始まり
6月末

遊びの変化